



阿育苑
QRコード

ほほえみ

あしよかえんだより



令和6年12月号



共に支え合う～個別ケアの取り組み～

みなさんがこれまでどのような人生を送られてきたのでしょうか。今の自分にとって嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこと、寂しいこと、好きなこと、嫌いなことは何でしょうか…

少しでもその方のことを知るために「対話」することから始めました。「ずっとお墓参りをしていない。行きたいけど、でも無理よ」願いを実現するためご家族と一緒に計画を立て、先日お墓参りをすることができました。

「うれしい、ありがとう」の言葉に心を動かされました。「こちらこそありがとう」と自然に言葉が出ます。「ありがとう」のことばには「共に支え合って生きている」という、とても素敵な思いが込められているのだと実感しました。

あしよか遍路





今回の勉強会は「グループミーティング」。みんなでノーリフトについて意見交換をすることができました。

そのあとリフトの使用方法的留意する点について、実技を通して再確認をしました。

ブリを堪能!!

株式会社ヨンキュウ様より今治市にブリが寄贈されたことを受け、阿育苑にもブリがたくさん届きました!

早速厨房でブリをさばき、お刺身に(^^)

なかには(ノンアルコール)ビールを片手にご満悦の様子の方も。

みなさんから「脂がのっててとっても美味しかった」と大変喜んでいただきました。



運営理念

- やすらぎ
- ほほえみ
- 対話

利用者の気持ちを尊重しながら、利用者の大切な時間をともに過ごしていく仕事であることに理解と誇りを持つ。

利用者への感謝の念を抱き、人生の先輩としての尊敬の念を忘れずに、生活の中にケアが寄り添い、やすらぎ、ほほえみ、対話のある自然な暮らしを営むことができるよう、利用者と職員でともに築き上げていく。

私が阿育苑で勤めだして20年が経過しようとしています。当時周りの職員は開設当初から勤められている先輩たちばかりでしたが、今となっては私自身が古株の一人となっています。

左の文章は、私が15年くらい前につくったもので、法人の理念「やすらぎ・ほほえみ・対話」に込められた思いを、その時の自分なりにまとめたものです。当時はただの文章でしかなかったものが、いま一つずつ実現しています。この思いを持ち続けたからこそ実感しています。

これからも利用者様と共に、そしてご家族様、地域の皆様と共に理念の実現を目指していきたいと思っております。

今年も残すところ一カ月を切りました。良いお年をお迎えください。

阿育苑施設長 村上貴夫